

新生

みなかみ

中学校

開校

みなかみ町立みなかみ中学校

町内の藤原・水上・月夜野・新治の4中学校が統合し、新設されたみなかみ中学校の開校式が令和4年4月7日に行われました。

開校の挨拶で都丸校長は「4校の良き伝統と校風を引き継ぎ、新たな伝統と校風を築いていきます。『絶えず考える』を校訓として、高い知性、豊かな感性と思いやりの心、健康でたくましい身体を求める生徒を目標に、『知』・『徳』・『体』をバランス良く育んでいきます。今後、みなかみ中学校で学んだ多くの生徒たちが、故郷みなかみを愛し、心豊かにたくましく生きていくことが、開校に携わった皆さんへの一番の感謝の表現となると考えております。」と求める生徒像と感謝の言葉を述べました。

生徒代表挨拶で3年宮嶋倅太郎さんは「統合を迎えるにあたり、お互いの良さを知り、絆を深め合い、それぞれが高い志を持ち、4校の歴史と伝統を受け継ぎつつ、新みなかみ中学校の新たな歴史と伝統を作り上げていきたいと思っています。『未来を拓く鮮やかな風になれ』という新みなかみ中学校校歌の一節が、まさに私たち生徒に求められていることだと思います。このことをプレッシャーに感じるのではなく、未来への希望として胸に刻み、前に進んでいきたいと思っています。去年までの学



▲上映された校歌のミュージックビデオ



▲みなかみ中学校の開校式に臨む生徒たち



▲みなかみ中学校初の入学式



▲感謝状を受け取る多胡邦夫さん

校で学んできたことを生かし、これからは一つとなつて、みなかみ中学校の歴史の新たなページを刻んでいきたいと思ひます。」と新しい学校生活に向けて意気込みを述べました。

校歌斉唱では、校歌のミュージックビデオが公開されました。壇上に設置されたスクリーンには、学校を取り囲む美しい自然や学校の風景を切り取った映像が校歌に乗せて上映されました。

みなかみ中学校校歌は、作曲家・音楽プロデューサーの多胡邦夫さんにより作詞・作曲されました。多胡さんは、廃校になる4校すべてを訪問し、生徒たちとの対話を重ねて校歌を作られました。

多胡さんは、「新しい一步を踏み出していく背中を押すためにこの曲を作りました。歌詞にも刻んだとおり、皆さんがみなかみの誇りになり、世界に飛び出し、絶対に戦争が起きない時代を作ってください。」とエールを送りました。校歌製作にあたりご協力いただいた多胡さんに町から感謝状が贈呈されました。

開校式後には、入学式が行われ、1年生114人が入学し、全校生徒329人でみなかみ中学校は新しい門出を迎えました。

藤原・水上・新治・月夜野の 4中学校で行われた 閉校記念式典

みなかみ中学校の新設に伴い、町内の藤原・水上・月夜野・新治の4中学校では、閉校記念式典が行われました。藤原中学校は、1947年に開校し、これまでに1135人の卒業生を輩出し

◀町内4中学校閉校記念式典
藤原中学校(左上)
水上中学校(右上)
新治中学校(左下)
月夜野中学校(右下)



ました。閉校記念式典には、在校生5人と併設する藤原小学校児童4人も出席し、75年の歴史に幕を下ろしました。

水上中学校は、1947年に開校し、これまでに6758人の卒業生を輩出しました。閉校記念式典には全校生徒48人が出席し、75年の歴史に幕を下ろしました。

新治中学校は、1964年に旧新治村内の3校が統合し開校しました。閉校記念式典には、在校生97名が出席し、これまでに7364人の卒業生を輩出し、58年の歴史に幕を下ろしました。

月夜野中学校は、1993年に旧月夜野町内の2校が統合して開校しました。これまでに3400人の卒業生を輩出し、29年の歴史に幕を下ろしました。校舎は今後もみなかみ中学校校舎として使用されます。